

The flowchart is organized into nine chapters, each with a central theme and several related concepts:

- 第一章 巧妙な敵の悪巧みを見抜き警戒せよ** (Chapter 1: Be alert to the cunning tricks of the crafty enemy)
  - よく気を配り、洞察し警戒するよりほかにふさわしいことがあろうか
  - 神の僕を圧倒し堕落させようとして公然と戦いを挑み、攻撃をしかけて来る場合はまだましである
  - 見せかけの平和で惑わし隠れた道を這い寄ってくるので「蛇」と名づけられた敵は、特に恐れ警戒しなければならない
- 第二章 永遠の生命を得るために守り行すべき掟** (Chapter 2: The commandment to be kept for the sake of eternal life)
  - クリストの足跡を歩むために、一つの掟の模範が与えられている
  - 信仰の掟を守らない者について、どうしてクリストを信じていると言えるであろうか
  - 誤謬の精神に捉われて、風に舞う塵のよう吹き散らされるであろう
  - クリストのこの掟を守らなければ、どうして永遠の生命を得ることができるであろうか
- 第三章 巧みなごまかしに用心せよ** (Chapter 3: Be wary of cunning deception)
  - クリストの到来により、見破られ追放された悪魔は、新たなごまかしを考案した
  - 自分の偶像が見放された
  - 自分を祀っていた神殿や寺院が信徒から見捨てられた
  - 悪魔は異端を作り分離をかもしたし一致を分裂させるために、信仰を覆い隠し、真理を捏造する
  - すでに光に近付きこの世の闇から逃れることができたと思い込んでいる者を、悪魔は新たな闇で包んでしまう
  - その人はクリストの福音に従わず掟も守らなくなっているのに、自分はクリスト教徒だと自称するようになる
  - その提供するものといえば、屋のかわりの夜、救いのかわりに滅び、希望とみせかけた絶望、信仰を口実にした背教と不信
  - こういことが起こるのは、われわれが真理の源に帰らず、その泉を訪ねず、天の教師の戒めを守ろうとしないから
- 第四章 教会の一致とその起源** (Chapter 4: The unity of the church and its origin)
  - このことを立証するには真理をようやくするだけで、容易に確信させることができる
  - 主はベトロに言われた。「あなたは私の教会を建てよ」主は一人の人物の上に教会を建てられた。
  - 主はその一致をよく示すために、全権をもってこの一致の起源は一人の人物に由来することを定められた
  - それによって教会が一つであることが証明されるためである
  - 使徒聖パウロは次の言葉で同じことを教えている「主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一です」
  - 教会の一致は「雅歌」の中で聖霊が主の代役を務めている
  - 教会のこの一致を保たない者が、自分は信仰をもっていると考えているであろうか
  - 主は復活の後に使徒たちのおのと同じ権能を授けた
  - その由来は一致から出ているのである
- 第五章 教会は豊かな実りを産み続ける一人の母である** (Chapter 5: The church is a single mother who produces abundant fruit)
  - われわれはこの一致を揺らぐことなく確保し擁護しなければならない。司教職は一つであり分ちえないことを証明するため
  - 教会は一つであるが、さらに広まっている。樹木のように枝が多いが、一つの強い根の上に幹を据えている
  - 太陽のように光線が多いが、光は一つ
  - 泉から多くの小川が流れ出て豊かさを現している
  - 司教職は一つであり、各人は全体のためにおのの役目をもっている
  - 教会は一人の母である。われわれはその胎内から生まれ、その乳で養われ、その精神で活かされている
- 第六章 神の力によって到来している一致を保つこと** (Chapter 6: Maintaining the unity that is coming by the power of God)
  - クリストの花嫁(教会)には、姦通に誘われるようなことはありえない。
  - 教会から離れて姦婦と交わる者は皆、教会の与える約束からも離れていく
  - 教会から離れ去る者はクリストの報いも受けることができない
  - 彼は「よそのもの」であり、敵対するもの
  - 教会を母としてもたない者は、神を父としてもつことができない
  - 教会以外の場所に集う者は、クリストの教会を散らす者である
  - 彼女は神のためにわれわれを守ってくれ、産んだ子を神の国に渡す
- 第七章 一枚織りのクリストの衣服とその神秘的な意味** (Chapter 7: The meaning of the robe of Christ, woven of one piece)
  - イエス・クリストの衣服は分けられず、裂かれずに、完全な形のままの衣服として受け取られた
  - この衣服には一致があった。上からの、すなわち、天から、父から下った一致である。
  - これとは逆に、ソロモンの死後、国民は分裂したが、預言者アヒヤは自分の衣服を十二切れに引き裂いた
  - クリストの教会を引き裂く者は、クリストの衣服をもつことができない
  - クリストはその衣服の神秘的なしるしによって、教会の一致を明らかに示された
- 第八章 信徒にとって、唯一の教会以外に家はない** (Chapter 8: For the believer, there is no home outside the one church)
  - クリストの教会を分割できると思ひ込む者、あえて分割を企てる者ほど、冒涇、不忠実、不和、狂気の沙汰に狂っている者があるうか
  - 信徒にとって、唯一の教会以外に家はない
  - あなたは教会から離れて別な建物建てた者が、独り立ちして生きていけると思うのであろうか
  - 一つの場所に多くの羊飼いが、あるいは多くの群れがありうると、誰が信じることができようか
  - 「出エジプト記」の法にある過ぎ越しの祭の神秘は、クリストのかたどりとして殺される子羊が、一つの家で食べられないといけないという内容にはかならない
- 第九章 純真さをもって和合を保つように** (Chapter 9: Maintain harmony with sincerity)
  - それゆえ、聖霊も鳩の形で下った
  - 鳩は、何ごとにも和合の掟を守る
  - この純真さこそは教会にも知られなければならない

